

—★ News Topics★—

---

[\* 重要なお知らせ] ガソリンの入れすぎにご注意下さい！

[1. MEC 製品ニュース] 高圧ポンプ QP-105SX

[2. MEC 海外情報] Water Trailer 搭載の QP ポンプとは・・・！？

[3. MEC 技術部発信] 70m 離れたところからポンプは吸える？

[4. MEC 一押し情報] 2017 年 製品カタログ

[5. MEC 社員旅行] 2017 年 6 月淡路島旅行に行ってきました！

[6. MEC 組織情報] 新入社員のご紹介

---

こんにちは。 マツサカエンジニアリング 営業部です。

8 月もあっという間に最終週ですね。 お盆が過ぎると 秋物が店頭飾られていたり、夏もすっかり終盤ムードで、若干名残惜しいです。

8 月に入り 異常気象のような記録的な長雨が続き、今年は梅雨のような夏でした。。先週、今週と比較的天気良きそうなので、そろそろ QP ポンプの出番か！！と待ち遠しい気持ちでございます。

夏の急激な気温の変化で体調を崩しがちですが、お盆休みでたっぷり休息を取りましたので、曇り・雨天気のような気分ではなく、晴天尚且つフレッシュな気持ちで、営業していこうと思います！

それでは今回も盛りだくさんのトピックスを揃えましたので、MEC ニュース Vol.11、最後までお付き合い下さい。

また、皆さんからの MEC ニュースのご意見・ご感想を大募集しております！

是非 営業担当にお聞かせいただくと大変励みとなります。(厳しいお言葉も大歓迎！！)

皆さんからのご感想、お待ちしております！！

---

《重要なお知らせです！ ガソリンの入れすぎにご注意ください！》

皆さん普段の生活のなかで、ファンヒーターなどのタンクに燃料を入れる場合、できる限り

ぎりぎりまで入れてしまいませんか？

しかし、汎用エンジンの場合はそのように入れすぎると燃料が溢れてしまいます！

最近、三菱製エンジンでガソリンの入れすぎによる漏れが数件発生しました。

これを受けて、エンジンの取扱説明書を変更し注意事項をより詳しく記載すると同時に、弊社ホームページにおいても注意をお願いしております。

ガソリンは溢れると非常に危険です！ くれぐれも入れすぎない様ご注意願います。

◆三菱エンジン燃料タンクについての案内はこちら↓

<http://www.mhi-eng.com/notice/products.html>

☆☆—————☆☆

製品ニュース 第2号！ 高圧ポンプ QP-105SX

—————☆☆

皆さんの販売促進のお役に立てるよう、7月下旬に 第1回配信 『製品ニュース 第1号』  
をご案内させていただきましたが、ご覧いただけましたでしょうか。

あるお客様から早速、『製品説明しやすい』『商品の特徴が分かるようになった。社員研修の  
資料に使いたい』等のご意見いただき、作成している立場からするととても嬉しいお言葉で  
ございます。

さて今回は、MEC ニュースの中で『製品ニュース第2号 QP-105SX』をご紹介致します。

弊社の高圧ポンプのバリエーションが豊富なのは、皆様ご存知かと思えます！

1吋の高圧ポンプ QP-105SX、通称ミニ高圧ポンプはご存知ですか。

ここで私が説明するよりも、製品ニュースをご覧いただいた方が分かりやすいと思えます  
ので、下記チェックしてみてください。

QP-105SX の製品ニュースはこちら↓

[http://qp-pump.com/qp\\_promo/Product\\_news/PDF/Product\\_news\\_H2907-003.pdf](http://qp-pump.com/qp_promo/Product_news/PDF/Product_news_H2907-003.pdf)

製品ニュース一覧はこちら↓

[http://qp-pump.com/qp\\_promo/Product\\_news/](http://qp-pump.com/qp_promo/Product_news/)

☆★—————★☆☆

海外情報：思った以上！期待以上で伸びている応用分野の QP ポンプ！

—————☆☆

Water Trailer 搭載の QP ポンプが好調です！世界にも広がっています！

2 トンの水タンク搭載或いは4 トン搭載の国内大手散水車メーカー向には、約 20 年前より QP ポンプ 3 吋セミトラッシュ型が登用され始め、工事現場用の散水用途需要の増加に伴い機種別貢献度では、年々順調な伸びを示しております。

◆QP ポンプ搭載の国内散水車その① 写真はこちら↓

[http://qp-pump.com/qp\\_promo/pdf/mm201708\\_01.pdf](http://qp-pump.com/qp_promo/pdf/mm201708_01.pdf)

同様の用途開発に着眼し、6 年前より米国での 2 インチ型ポンプ WT5C(基本 QP2H 本田エンジン駆動) が 5 2 5 ガロン (約 2 0 0 0 ℓ) 水タンク搭載の Water Trailer に組み込まれ昨年で約 7 0 0 台の生産を達成しました。

又本年 4 月より、新たに高圧型 2 インチポンプの水タンクローリーへの搭載型が販売開始され初生産約 1 0 0 台が出荷され、今後の展開に期待が寄せられています。用途の開発は「思わぬ所、でもいたる所に」 その可能性が有りますね！

◆米国の使用写真はこちら↓

[http://qp-pump.com/qp\\_promo/pdf/mm201708\\_02.pdf](http://qp-pump.com/qp_promo/pdf/mm201708_02.pdf)

米国市場は何れも本田ガソリンエンジン駆動 (GX120 と GX160) ポンプによる組み込みです。

因みに国内散水車メーカーは、トラックの PTO からの動力や、油圧駆動・ディーゼルエンジン駆動により給水・散水しています。高圧ポンプを搭載し可搬性を高めた面白い応用製品はスペインでも取り扱い始められています！

◆QP ポンプ搭載の国内散水車その② 写真はこちら↓

[http://qp-pump.com/qp\\_promo/pdf/mm201708\\_03.pdf](http://qp-pump.com/qp_promo/pdf/mm201708_03.pdf)

◆スペインの使用記事はこちら↓

[http://qp-pump.com/qp\\_promo/pdf/mm201708\\_04.pdf](http://qp-pump.com/qp_promo/pdf/mm201708_04.pdf)

☆☆—————☆☆

MEC 一押し情報：製品カタログ情報をピックアップ

—————☆☆

・・・今 MEC で何かが起こっている！

お客様に製品を販売する際のツールには色々な物があります。

弊社でも最近良く使われているのが動画、所謂プロモーションビデオです。

実際に製品を見ないでも、その概要や特徴がある程度イメージできる

大変重宝な販売促進用のツールです・・・・・・・・・・、が！

画像を映す環境を用意する手間が必要な為、出先でちょっと紹介したいときは

やっぱり【カタログ】が欲しいなあ～！という事になりますよね

★カタログコーナーへのリンクはこちら ↓

[http://www.qp-pump.com/blog/support\\_cat/catalog/](http://www.qp-pump.com/blog/support_cat/catalog/)

今年1月～6月に新作したカタログをご紹介します。

カタログを新作するという事は、MEC で何かが起こっている！

《★新製品を発売した》、或いは《★販売企画をおこなった！》 という事です！

今年作成したカタログをご覧になって、此の製品は何？、どんな販売企画なの？と

ご興味がございましたら、どうぞ担当までお気軽にお問合せ願います！

・経済型2吋高圧エンジンポンプ【QP-2S】

HondaGP160 専用設計の経済型高圧ポンプです。コストパフォーマンスが抜群！！

QP2S のカタログはこちら ↓

<http://www.qp-pump.com/wp/wp-content/uploads/2018/11/WDCHG1612.pdf>

・セル始動、エンジンセット動噴【QP-PS25M】

エンジン内臓リチウムバッテリーで軽量・コンパクト！年配の方や女性でも一発始動

が可能です！！

QP-PS25M セルのカタログはこちら ↓

<http://www.qp-pump.com/wp/wp-content/uploads/2018/11/WDPMG1705.pdf>

・海水延命仕様ディーゼルエンジンポンプ

新たに『防錆電着塗装』を採用しました。ポンプ色が、従来の赤から黒に変わっただけでなくネジ部の塗装が可能になり、耐久性もアップしました。

海水延命仕様のカタログはこちら ↓

<http://www.qp-pump.com/wp/wp-content/uploads/2018/11/WDSYD1704.pdf>

・モズク採集用エンジンポンプ

モズク採集用としてマッチングするエンジンポンプ（ディーゼル駆動、ガソリン駆動）のご紹介です。

沖縄県の恩納村漁業協同組合様と共同で企画しました。

貴社でも積極的な販売企画をお考えでしたら是非お聞かせください。ご協力いたします！

モズク採集用ポンプのカタログはこちら ↓

[http://qp-pump.com/qp\\_promo/pdf/mozuku\\_saisyu\\_pump.pdf](http://qp-pump.com/qp_promo/pdf/mozuku_saisyu_pump.pdf)

☆☆—————★☆☆

~技術部発信~ 70m 離れたところからポンプは吸えるの？

—————☆☆

お客様から突然舞い込んだ 珍しい？ちょっと変わった？「お問合せ！」

それは・・・

『弊社 3 インチエンジンポンプ（QP-303 最大揚程 32m、水量 1000L/分）を水源から 70m(水平横引き)離れたところに据え付けて水を移送したい。この時、水を揚水する事が

できるのか?』 といった問い合わせでした。

皆様ご存知の通り、自吸式エンジンポンプを使用する場合、『水源に限りなく近づけて設置』した方がポンプの能力を最大限に生かす事が出来ます。それはポンプ本体内部の空気を無くし真空状態をつくることで水を吸上げてくるという構造だからです。

また水源から遠く、吸上げたいのに中々吸ってこないと ポンプ内部で キャビテーションという不具合現象が起き、その結果インペラーやポリュート室をボロボロにしてしまいます。

(例えばドリンクを飲む時にストローを長くすればするほど、吸引力が必要で体に負担が掛かるのと似ています)

★キャビテーションを起こした部品写真はこちら ↓

[http://www.qp-pump.com/qp\\_promo/pdf/mm\\_cavitated\\_impeller.pdf](http://www.qp-pump.com/qp_promo/pdf/mm_cavitated_impeller.pdf)

所が此のお客様には、『水源に限りなく近づけて設置』出来ない、水源から 70m離れたところにしか設置出来ない事情がありました！

・ 遠浅の海岸にポンプを設置する！・・・海には潮の満ち引きがある！ という事でした！！！

★使用場所のイメージ図はこちら ↓

[http://www.qp-pump.com/qp\\_promo/anime/01.shtml](http://www.qp-pump.com/qp_promo/anime/01.shtml)

然し実際に 70m を揚水する事はできるのか?また、その時の吐出量は何リットル出るのか?

と社内で話題になり、改めて検証してみる事になりました。

まず、揚水するまでにかかなりの時間がかかる事が想定されました。(想定：約 15 分)

そして配管抵抗(ロス)を考慮し検証すると 『約 9m』 の喪失、その際の吐出量は 700~800L/min.が可能と出て来ました。

然し、使えるっと喜んではられません！ この場合、配管抵抗(ロス)が大きい為、ポンプ内にキャビテーション(上記)の発生が危惧されます。

そこで一工夫！

吐出側にバルブを設けます。そしてバルブを半開する事で、吐出量は 400~500L/min.となり、吐出量を制限する事で配管内の抵抗が下がり、結果キャビテーションの発生を無くす事が出来ます。

このように工夫して使用をする事で、一見難しいと思われる様な条件でもポンプを有効に使って頂けます。

今後もお客様のご要望に対し満足頂ける、製品作りそして技術サポートに尽力して参りますので何かご質問が御座いましたら MEC 技術部までご連絡下さい！！

☆☆—————☆☆

MEC 社員旅行/ 兵庫県淡路島に行ってきました！

—————☆☆

6月の最終週の金・土曜日に、1泊2日の社員旅行に行ってきました。  
今回は、あま〜い玉ねぎで有名な兵庫県・淡路島旅行。

途中、ヤクルト工場見学や渦潮クルーズなど、色んなところへ立ち寄りながら、宿泊先は海の絶景を見ながらの洲本温泉。

夜の宴会では、MEC 全員白熱した『MEC 感謝祭』が開催され、ゲームの敗者は自棄酒したとか・・・！？

最終日は、阪神・淡路大震災で出現した『野島断層（国指定天然記念物）』がありのまま保存されているという北淡震災記念公園に来場しました。なんとここには、弊社製品霧システムが導入されているんです！！

ですが、実際に霧システムが作動される時は閉館時との事。今回は、記念館の皆さんからのご好意で、特別に霧システムを運転していただきました。通常見ることの出来ない生の霧システム、あっという間にあたり一面霧に包みこまれ 本当に雲海のような様子でした。

このシステムが断層の状態を保つ重大な任命を担っており、地震の凄まじさを目の当たりにし MEC 一同 非常に刺激的な旅となりました。

社員旅行の一部写真を紹介↓

[http://www.qp-pump.com/qp\\_promo/company\\_photo/14.shtml](http://www.qp-pump.com/qp_promo/company_photo/14.shtml)

☆☆—————☆☆

MEC 組織情報/ 新入社員をご紹介

☆☆

MEC 社内の情報を時折にふれ今後ご紹介させて頂こうと考えております。  
組織体制や役割体制、はたまたあるチームにスポットあてて紹介させてもらうなど…  
今回は今年新しく MEC の一員となった ピチピチの NEW FACE 4 名をご紹介させていただきます。

紹介写真はこちら ↓

[http://qp-pump.com/qp\\_promo/pdf/new\\_member.pdf](http://qp-pump.com/qp_promo/pdf/new_member.pdf)

最後までお付き合いいただき、誠に有難うございました。  
また、次回も宜しく願い申し上げます。



○メール配信停止をご希望の方はこちらまでご連絡ください。

[hasegawa@qp-pump.com](mailto:hasegawa@qp-pump.com)

○配信元：株式会社マツサカエンジニアリング

<http://www.qp-pump.com/>

東京本社

東京都千代田区神田松永町 2 3 番

TEL：03-3257-6130

FAX：03-3257-6129

工場

三重県多気郡多気町野中 2 1 5 5

TEL：0598-39-3211

FAX：0598-39-3844

発行/株マツサカエンジニアリング 営業部

